

経営比較分析表

福島県 浅川町

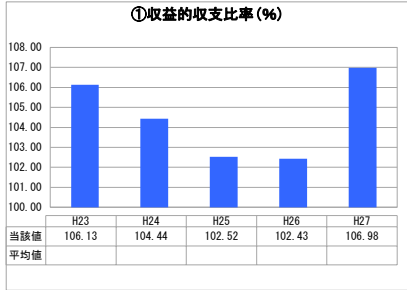
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	37.54	100.00	3,801

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,787	37.43	181.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,525	1.01	2,500.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



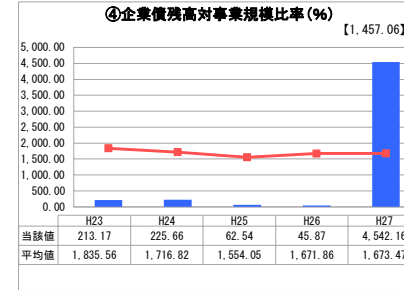
「単年度の収支」



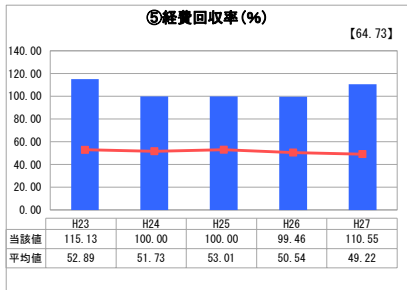
「累積欠損」



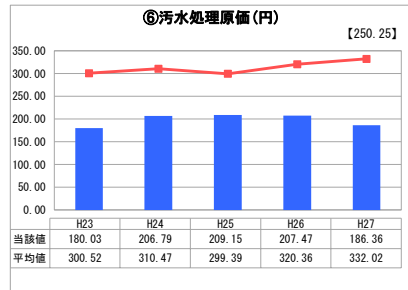
「支払能力」



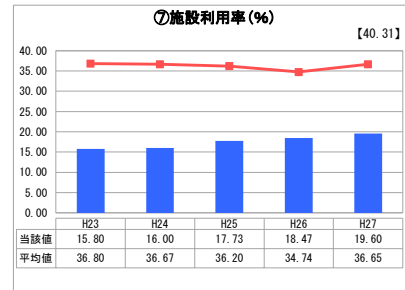
「債務残高」



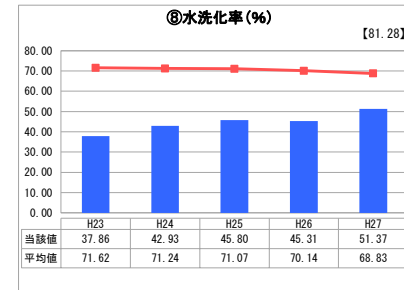
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

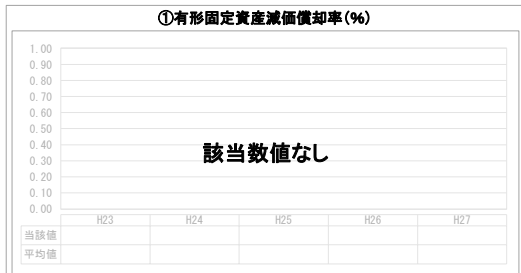
①収益的収支比率：H23年度以降100%を超える水準で推移しているため経営状況は健全である。
 ②企業債残高対事業規模比率：H27年度は非常に高い数値となっているが、一般会計負担分を控除すると当該値が9.63となり、類似団体平均と比較して低い数値となっている。
 ③経費回収率：概ね100%で推移しており経営状態は健全である。類似団体平均と比較しても高い数値となっている。
 ④汚水処理原価：類似団体平均と比較して低い数値となっているため効率的な汚水処理がなされていると言える。
 ⑤施設利用率：類似団体平均と比較して低い状況であるが、年々増加している。管路施設の整備が途中であるため、今後、更に増加する見込である。
 ⑥水洗化率：類似団体平均と比較して低い状況であるが、年々増加している。管路施設の整備が途中であるため、今後、更に増加する見込である。

- ・収益的収支が100%を超えており経費回収率も100%を超えているため健全な経営ができていいると思われる。
- ・汚水処理原価は類似団体平均値より低い数値となっているが、今後、老朽化等による維持管理費の増加に対応するため、接続率の向上による有収水量を増加させる取組が必要となる。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率：類似団体平均と比較して低い数値となっている。
 ・平成18年3月供用開始のため、比較的新しい施設ではあるが、供用開始から10年を過ぎたためポンプ等のオーバーホールの時期となってきている。
 ・管渠は耐用年数を経過するものはないが、東日本大震災の影響を受けた管渠もあることから、定期的な点検・調査をする必要がある。

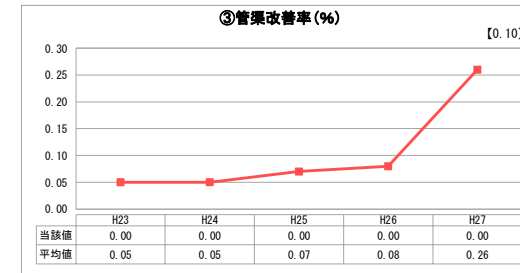
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

全体総括

- ・収益的収支が黒字とはなっているが、施設も供用開始から10年を経過し、今後、維持費等の増が見込まれるため、更に経費削減や施設利用率の向上が必要になる。
- ・処理区域の拡大については、今後の更新や修繕も考慮し、投資規模は適切か判断する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。